

2015(平成27)年度 法学既修者入学試験問題(2月試験)

刑 法

(90分, 総点100点)

試験開始の指示があるまで開かないこと

注意

1. 問題冊子は、表紙及び余白を含めて4ページで、問題は1問ある。
2. 解答用紙は1枚配布する。解答は解答用紙に記入し、解答の末尾には、「以上」と明記すること。また、用紙が不足した場合には、追加の用紙を配布するので、挙手して監督者に知らせること。
3. 下書き用紙として、白紙を1枚配布する。ただし、下書き用紙の提出は認めないので、必ず解答用紙に清書して提出すること。
4. 解答用紙への受験番号、氏名記入は、監督者の指示によること。また、「管理番号」欄は、大学側が使用するので受験生は記入しないこと。
5. 問題の内容に関する質問には、応じない。
6. 試験時間内の退場はできない。なお、試験中の発病等やむを得ない場合には、挙手により監督者に知らせ、その指示に従うこと。
7. 試験終了後は、監督者の指示があるまで、各自の席で待機すること。
8. 問題冊子及び下書き用紙は、各自で持ち帰ること。

〔設問〕

株式会社Sが経営する飲食店A店では、店長であるYが、店の統括責任者として、1週間分の売上金を伝票とともに施錠できる金属製のアタッシュケースに入れ、毎週月曜日の午前中に、A店から本社営業部まで届けるという役割を担当しており、アタッシュケース用の鍵は、Y店長と本社営業部がそれぞれ1個ずつ管理していた。

A店の従業員Xは、遊興費を不正に取得しようと考え、上記アタッシュケースの鍵を密かに複製するとともに、Y店長を騙して売上金の入ったアタッシュケースを預かり、その中から現金の一部を抜き取るという計画を立てた。そこで、2014年7月9日午後5時ころ、Y店長の机の引出しからアタッシュケースの鍵を取り出し、近所の鍵屋で複製を作成した後、同日午後7時ころにY店長の引出しに戻しておいた。そして、同月14日午前10時ころ、Y店長に対して、「最近、強盗事件が頻発していて物騒なので、今日は私がアタッシュケースを本社まで届けますよ。」などと言って、Y店長から売上金2500万円が入ったアタッシュケースを受け取った。

その後、Xは、自分の車で本社に向かったが、本社駐車場に停車した車の中で、予め用意していた複製の鍵でアタッシュケースを開錠し、中から現金100万円と正規の伝票を抜き取って自分のバッグの中に入れ、正規の金額から100万円分を減額した偽造伝票をアタッシュケースに入れて施錠し、そのアタッシュケースを本社営業部に届けた。

このような場合におけるXの罪責について論じなさい。なお、伝票の偽造に関しては述べる必要はない。

余白

余白